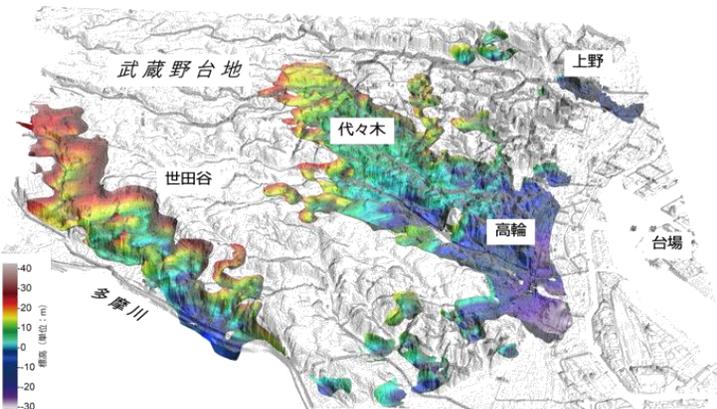
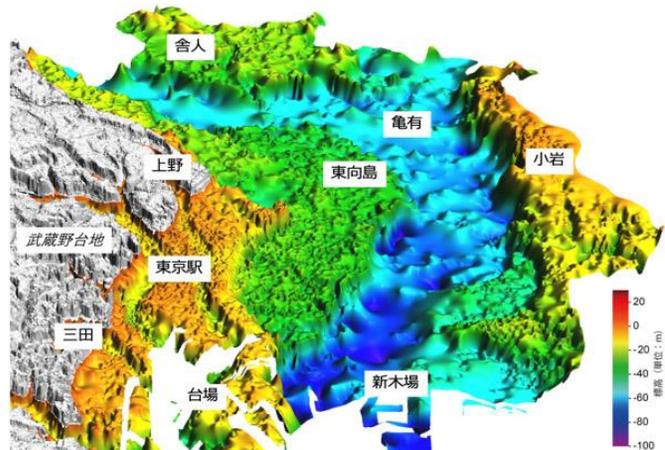


○ 地層の分布形状解析からこれまで固い地盤とされていた場所にも軟らかい地層を発見

東京下町の低地の地下には、沖積層と呼ばれる軟弱な泥層を主体とする地層が、最終氷期（最盛期は約2万年前）に海面の低下により形成された谷を埋めるように分布することは従来から知られていました。

今回の解析により、この沖積層が埋積する埋没谷の3次元形状を、詳細に描き出すことができました。

《東京下町の低地の地下の埋没谷形状》



《山の手の武蔵野台地の地下の埋没谷形状》

山の手の武蔵野台地の地下についても、一般に地盤が固いとされていた台地の地下にも、一部に沖積層に類似した軟弱な泥層が昔の谷を埋めるように分布していることが解析により明らかになりました。

この谷は14万年前頃の氷期に形成されたもので、その後の約13万～15万年前の間氷期に海が侵入し、内湾の軟弱な泥層によって埋められたと考えられます。

○ 首都東京の地震ハザードマップや都市インフラ整備などで幅広く利活用

3次元地質地盤図に示されるこのような地下の地質地盤情報は、地震ハザード予測や都市インフラ整備などに活用できます。

産総研のウェブサイト「都市域の地質地盤図」では、東京都心部の地下の地層の3次元的な広がりをごパソコン画面上で立体図として、だれでも簡単に閲覧することができます。

立体図以外にも、従来ではできなかった任意の箇所での地質断面図の表示も可能、また地質平面図では、興味のあるエリアを拡大して詳細に見ることができます。（作成の基本縮尺は2万5000分の1）

都市域の地質地盤図ウェブサイト <https://gbank.gsj.jp/urbangeol/>

任意箇所の地質断面図の描画が可能

地下の地質特性を示す2種類の立体図が閲覧可能

岩相（砂・泥など）の色分け表示

N値（固さ軟かさを示す）の色分け表示

立体図の例（東京都港区三田付近）

2.5 km

2.5 km

190 m

軟らかい東京層の泥層

軟らかい沖積層の泥層

支持層となる固い土総層群の泥岩

岩相の凡例

N値の凡例

0～10 軟

11～20

21～30

31～40

41～50 固

《3次元地質地盤図の表示例》

※ 資料の図はすべて産総研のウェブサイトからの引用です